

「岩手県におけるリハビリテーションのあり方検討会」報告書の取りまとめについて

1 「岩手県におけるリハビリテーションのあり方検討会」報告書について

(1) 経緯

高齢化が進行する中、脳卒中患者などの心身機能や日常生活活動等の向上に資するリハビリテーションの重要性が高まっていることから、岩手県のリハビリテーション施策について、専門的立場の方から助言を得るため、「岩手県におけるリハビリテーションのあり方検討会」を設置し、全7回の検討会を開催した。

(2) 報告書の概要

岩手県におけるリハビリテーションの現状や課題等について議論を行い、検討会において出された意見を報告書として取りまとめた。(県HP上で公表)

【報告書の主な項目】

- ①リハビリテーション科専門医について
- ②リハビリテーション専門職について
- ③沿岸地域におけるリハビリテーションの充実について
- ④介護施設等におけるリハビリテーションについて
- ⑤障がい児者へのリハビリテーション支援について

(3) 今後の対応

県において、本報告の内容や、現在、国において検討されている新たな地域医療構想の内容等も踏まえながら、具体的な方策の検討を進める。

2 岩手県におけるリハビリテーションのあり方検討会について

(1) 開催実績

項目	日時	内容
第1回検討会	令和6年6月10日(月)	本県のリハビリテーションの現状・課題
第2回検討会	令和6年7月31日(水)	リハビリテーション科専門医、専門職の確保・育成
第3回検討会	令和6年9月18日(水)	リハビリテーション医療体制
第4回検討会	令和6年10月9日(水)	リハビリテーション医療体制②
第5回検討会	令和7年7月30日(水)	多様な機関・職種等の連携
第6回検討会	令和7年9月29日(月)	障がい児者へのリハビリテーション支援
第7回検討会	令和7年12月23日(火)	報告書の内容について

(2) 構成員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター	理事長	大井 清文	会長
岩手医科大学	リハビリテーション医学講座 教授	西村 行秀	副会長
一般社団法人岩手県医師会	副会長	木村 宗孝	
一般社団法人岩手県理学療法士会	会長	及川 龍彦	
一般社団法人岩手県作業療法士会	会長	藤原 瀬津雄	
岩手県言語聴覚士会	会長	猪川 一裕	
岩手県医療局業務支援課	リハビリテーション指導監	佐藤 一浩	

※ 構成員の任期は、令和8年3月31日まで。